

報告 平成18年度のごみ減量の推進

1人1日当たりの排出量が最小値に、大きな目標の通過点

平成18年度のごみ・資源物の総量は、平成17年度に比べて若干増加しましたが、1人1日当たりの排出量は80%となり、ごみ改革後最小値の良い結果になりました。市民の皆さんの高いごみ減量意識と、努力が実を結んだ結果です。

ただし、市民参画で策定した「環境基本計画」では、平成24年に1人1日当たりの排出量が多摩地域で一番少ない自治体になるという目標を掲げていますが、依然第1位との差は55%もあります。

1人1日と10%のごみ減量にご協力ください。

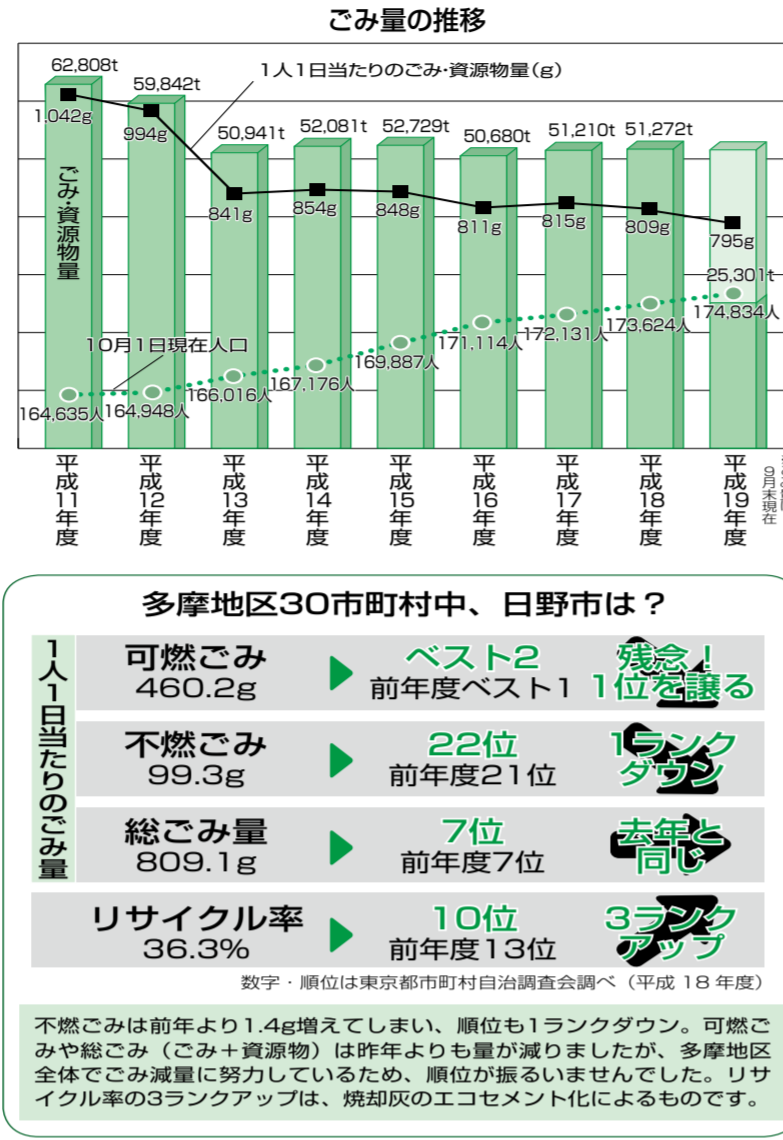
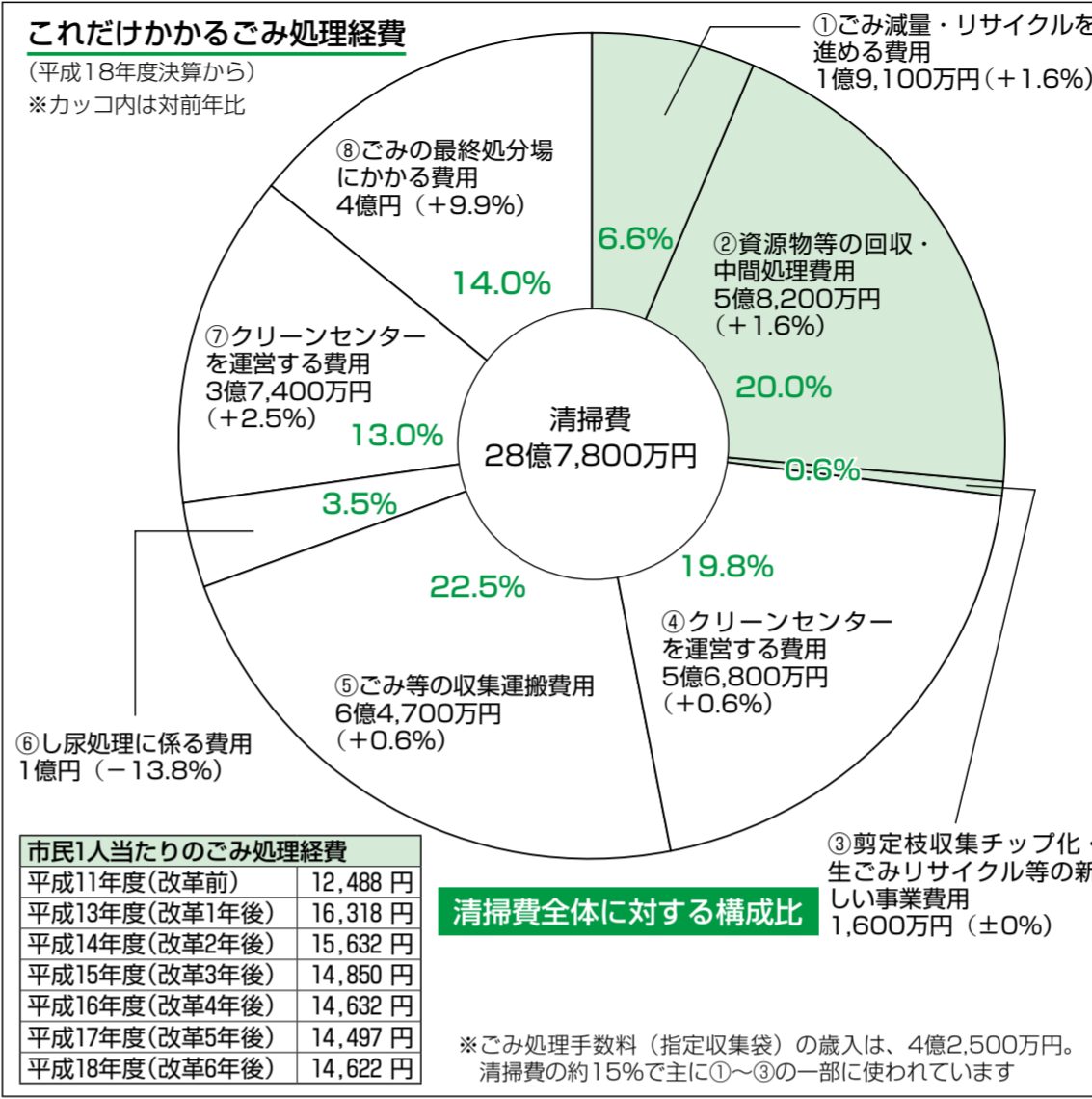
▼目下の課題①
「不燃ごみの分別」
びん・かん・ペットボトルなどの資源物混入が原因で、不燃ごみが増加しています。また、有害(危険)ごみが混在して、支障をきたしています。(別掲記事参照)もう一度、分別の徹底をお願いします。

一方、不燃ごみの中には、プラスチック製容器包装が多く含まれています。市では、資源物対象を拡大しようと現在準備を進めています。リサイクルには多くのエネルギーと費用を必要とします。

そこで、レジ袋を断り、過剰包装の商品を買い控えるなど、ごみや資源物に買わないものを家庭に持ち込まない工夫をお願いします。

▼目下の課題②
「生ごみの減量」
可燃ごみの半分は「生ごみ」です。「臭い・残しをしない」「生ごみは水分をよくしぼること」を実践してください。

また、市では生ごみ堆肥化容器的の購入に補助をしています。ご活用ください。



「いなげや」市内2店舗で レジ袋有料化実験中

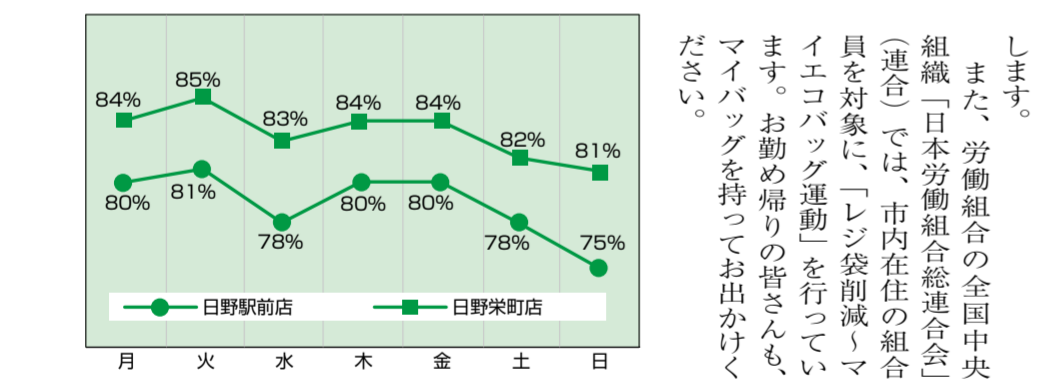
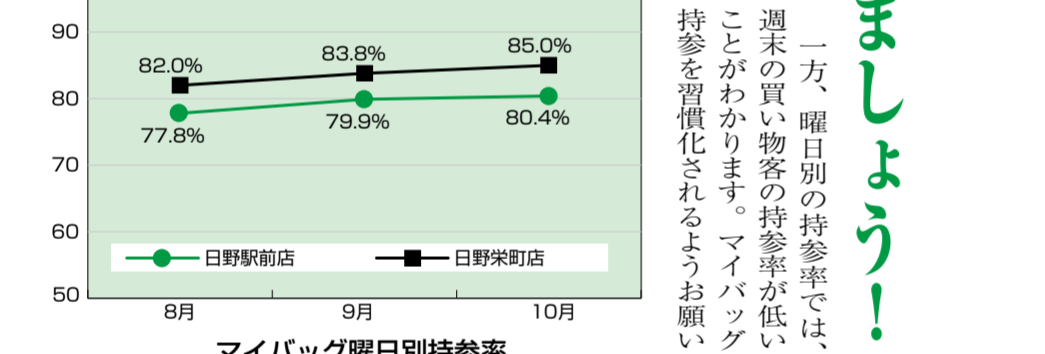
成功させて、市内全域に広げましょう!

町店ではレジ袋を1枚5円で販売し、買い物袋(マイバッグ)の持参を呼びかけます。収益は、地域の環境教育に還元される予定です。

▼レジ袋の弊害
市では、1世帯当たり年間約600枚ものレジ袋が使われています。しかも、レジ袋の大半はそのままごみとして捨てられており、「レジ袋は使い捨ての象徴」になっています。

市と「日野市ごみ減量推進市民会議」の要請に応じ、スーパーマーケットの「いなげや」が、レジ袋の有料化実験を引き続き行います。

いなげや日野駅前店・日野栄町店



年末年始に向けて

年末の大掃除はお早めに

年末の大掃除などで出る粗大ごみの収集を年内に希望される方は、早めにお申し込みください。収集までに2週間以上かかることもあります。

また、年内の通常のごみ収集・資源物回収は、「ごみ・資源分別カレンダー」に記載されているとおり、12月28日(金)の品目で最終です。

【粗大ごみ申込先】(南日野環境保全) ☎581-4331

■一部地域で、新年1月3日に可燃ごみの臨時収集を行います。このため、週に1回の可燃ごみ収集を確保するため、次の地域で1月3日(木)に可燃ごみ臨時収集を行います。なお、それ以外の地域では1月4日(金)から通常通り収集を連絡ください。

■平成20年版「ごみ・資源分別カレンダー」を配布
平成20年の「ごみ・資源分別カレンダー」を12月21日(金)までに各家庭に順次戸別配布します。2世帯以上の住宅で2部以上必要な場合は、12月3日(月)以降、市役所1階市民相談窓口、七生支所、豊田駅連絡所、生活・保健センター内地域協働課、クリーンセンターでお受け取りください。

なお、戸別配布には十分注意を払っていますが、万一配布もれの場合はごみゼロ推進課へご連絡ください。

1人1日当たりのごみ量が最小値に!!

ご協力ありがとうございました

平成18年度のごみ量が確定しました。1人1日当たりの排出量がごみ改革後最小値の良い結果になりました。しかし、一方で「不燃ごみ」と「有害(危険)ごみ」にルール違反が目立ちます。日野市民は「ごみ減量の達人!」と呼ばれるように、大きな目標に向かって引きつづき皆さんで努力していきましょう。

めざせ多摩地区ベスト1

さらにごみ減量の推進
不燃ごみの分別徹底を!

問合せ先 ごみゼロ推進課 ☎581-0444

有害(危険)ごみの出し方

無料で、不燃ごみの隣に並べて出す

① 乾電池、水銀体温計、ライター、スプレー缶・カセットボンベ
② 蛍光管
③ テープ類すべて
ビデオテープ、カセットテープ、プリンタインクリボンなど

中身の見える袋に入れて

中身の見える袋に入れて

割れないように箱などに入れて

①②③はひとまとめにしない!
クリーンセンターに運搬後、それぞれ別な処理をしますので、①②③をひとまとめにしないようにお願いします。

※ライター・スプレー缶・カセットボンベは、使い切ってから
※1回に出せる量は、市指定袋の小袋(10リットル)相当量(ビデオテープ10本程度、カセットテープは40本程度)

※白熱電球、グロー球は不燃ごみへ

不燃・有害(危険)ごみの出し方

ルール違反が招く、爆発事故や火災

別図を参考に、ルールの再確認をお願いします。

① ライター、スプレー缶・カセットボンベは中身を使い切ってから乾電池・水銀体温計と一緒に中身の残っているカセットボンベやスプレー缶・ライターなどが原因で、クリーンセンター不燃ごみ処理施設での爆発事故が後を絶ちません。また収集車両火災を招くと、近所の方にも大変危険を及ぼします。くれぐれも中身を使い切ってから排出してください。

② 蛍光管は割れないように箱などに入れて取り替え時に、新品の入っていた箱に廃棄する蛍光管を入れて出すと割れずに収集できます。

③ テープ類は中身の見える袋に入れて出して下さい。不燃ごみと一緒に指定袋内に入れてしまうと、クリーンセンターの回転式選別機に絡みついてしまいます。

▶ 不燃ごみ回転式選別機に絡みついたテープ類を取り除くクリーンセンター職員

▶ 刃物やガラス等の破片は「不燃ごみ」です。刃物や割れたガラス、瀬戸物の破片などは、紙や布に包んで「不燃ごみ」の袋の中に入れ「割れ物あり」などと表示するよう、お願いします。

▼ ①②③はひとまとめにしないでそれぞれ別の処理をされている
これらのごみは、クリーンセンターでそれぞれ別の処理をしています。最近、①②③を混在させた出し方が多く、支障をきたしています。ご注意ください。